

肌の隙間 (2004)

メディア 映画

ジャンル ドラマ エロティック

製作国 日本

色彩 Color

時間 77分

初公開日 2005/05/28

公開情報 アルゴ・ピクチャーズ

映倫 R-18

【キャッチコピー】

世界は美しいー。

【解説】

「MOON CHILD」「トーキョー×エロティカ」の鬼才・瀬々敬久監督が放つ痛ましい愛の寓話。無垢な2人の男女が行き場を失い彷徨の果てに禁断の性愛の中に2人だけの世界を見出していく姿と、その性の逃避行の行き着く先を赤裸々かつ痛切に描く。2004年にピンク映画として公開されたが、その後評判を呼び一般公開が実現。

ある日、ひきこもりの少年・秀則は母を殺害した。一緒に住んでいた自閉症の叔母・妙子は彼をスクーターに乗せて逃亡する。やがて2人は過疎化した村に辿り着き、妙子の母が住む家を訪れた。彼らを招き入れた母だったが、妙子に掴みかかると、“お前が死ねばよかったのだ”と泣き崩れるのだった。翌朝家を出た2人は、アイスクリーム売りの男の車に乗せてもらう。その後、妙子が男に襲われそうになると2人で逃げ出し、森の中へと入り込んでいく。やがて2人は無人の山荘を見つけ、そこに住み着くが…。

【クレジット】

監督 瀬々敬久

企画 朝倉大介

脚本 佐藤有記

撮影 斉藤幸一

編集 酒井正次

録音 山口勉

助監督 坂本礼

出演 不二子 妙子

小谷健仁 秀則

伊藤洋三郎

三浦誠己

飯島大介

吉村実子